

第1期和水町教育振興基本計画の策定に係るパブリックコメントの実施結果及び町の考え方について

第1期和水町教育振興基本計画（案）について、皆様からご意見をお寄せいただきましたので、第1期和水町教育振興基本計画策定に係るパブリックコメント実施要綱第7条に基づき公表します。

- 1 意見募集の期間 令和8年2月16日（月）から令和8年3月6日（金）まで
- 2 意見の提出者数 2名（11件）
- 3 意見に対する方針
 - (1) 意見を踏まえ案を修正したもの 8件
 - (2) 意見に対して町の考え方で補足説明するもの 0件
 - (3) 今後の取組みの参考とさせていただくもの 3件
- 4 意見と町の考え方

番号	意見	意見に対する町の考え方	町の方針
1	<p>P9について</p> <p>「小中学校が連携し、不登校児童生徒や登校しづらさを抱える児童生徒への配慮やサポートを一貫して行います」といった内容を追加していただきたいです。小学校では担任の先生からこまめに家庭訪問があるなど、丁寧な関わりがある一方、中学校では担任の先生によって対応の差があったり、学校に行きづらくなったときに宿題の提出を優先して求められたりしてますます行きづらくなるという例をいくつか聞いています。</p>	<p>小中一貫教育の取組で、不登校に関する内容も含めて小中間の連携を図っています。特に年度末には小中連絡会を実施し、小学校の卒業生に関わった主な職員と中学校の関係職員が一堂に会し、学習面・生活面についての引継ぎを実施しております。</p> <p>今後も、ご指摘のような事案が生じないように、引継ぎの内容を活かすとともに、小中間で日常的な連絡・相談に努めるなど、更なる連携を図ります。</p> <p>これらのことを踏まえて【具体的な施策】に加筆しました。</p>	(1)
2	<p>P9について</p> <p>「ICT機器を使った不登校児童生徒や登校しづらさを抱える児童生徒の支援を検討します」といった内容を追加していただきたいです。教育支援センターだけではなく、自宅にしながらオンラインで学習ができる体制を整えるべきだと思います。熊本県内ですでに体制が整っている自治体・または熊本市と連携して、オンライン授業を受けられるようにしてはどうでしょうか。</p>	<p>ICTに関わる環境の整備が進み、自宅と学校とを繋ぐような活用も可能な状況になっており、本町でも既に保護者や児童生徒のニーズに応じ、そのような対応をとっているケースがあります。このことを踏まえて【具体的な施策】の欄に加筆しました。</p> <p>他の自治体との連携については、使用教科書の違いや授業進度の違い等、クリアしなければならない課題がいくつかあります。それらの課題が解消される状況になれば、検討したいと考えます。</p>	(1)

3	<p>P12 について1点 「小学6年生の血液検査について結果を公表し、食生活や生活習慣の指導に活かします」といった内容を検討していただきたいです。和水町の肥満傾向の割合が全国に比べて高い状況は、より危機感を持って深刻に受け止めるべきと考えます。香川県では、小4、中1を対象に血液検査を行っており、脂質異常等のパーセンテージを公表。新聞で加糖飲料の摂取制限に言及されています。</p>	<p>検査の結果については、詳細な数値を公表することは致しておりません。比較的大きな自治体では可能と考えますが、和水町は対象児童数が少なく個人が特定されることも懸念されることから公表は差し控えたいと考えます。 現在も個別指導や各学校における健康指導には検査結果を活用しており、ご指摘は今後の肥満防止に向けた取組の参考にさせていただきます。</p>	(3)
4	<p>P13 について 「給食指導の充実」について、「米飯給食の充実を検討します」を入れていただきたいです。主食がお米になることで、油脂と精製糖の少ない献立になり、こどもの肥満対策になります。また、計画の基本理念は「ふるさとに誇りをもち、未来を拓く人づくり」です。菊池川周辺で稲作を中心に栄えた和水町産のお米を、給食で子どもたちにしっかり食べてもらうことは、基本理念につながると考えます。まずは週4回、将来的には完全米飯給食を目指していただきたいです。</p>	<p>児童生徒や保護者の意見を聞きながら、今後の米飯給食の在り方を検討していきます。このことを【具体的な施策】の中に加筆しました。</p>	(1)
5	<p>P13 について 「望ましい食習慣の形成と家庭との連携」について、和水町の肥満傾向の割合が高い現状を踏まえ、「おやつ・飲み物の見直しを含めた指導」を付け加えていただきたいです。スナック菓子・加糖飲料による油脂・精製糖の過剰摂取を防ぐために家庭に啓発を行うことは、肥満対策として大変有効だと考えます。</p>	<p>「○食生活調べなどをもとに、児童生徒の実態に応じた指導を行います。」との記載の中に、ご指摘の内容が含まれると認識しています。ご指摘の内容については、各学校における健康指導の参考にさせていただきます。</p>	(3)
6	<p>HPでは「令和8年度～12年度」の5箇年とされていますが、ダウンロードした(案)の表紙には「令和8年度～11年度」と表記されています。どちらが正しい期間でしょうか。</p>	<p>HPの方の記載に誤りがありました。計画の表紙にある通り「令和8年度～11年度」が正しい期間になります。HPを即時訂正させていただきました。</p>	(1)
7	<p>目次には「第1章4策定の経緯」とありますが、2ページには「3計画の期間」しか記載されていません。「策定の経緯」は何ページにありますか？</p>	<p>「4策定の経緯」については、「1策定の趣旨」の中に入れて記載することになりましたが、目次の訂正ができておりませんでした。ご指摘を受け、目次から削除いたしました。</p>	(1)
8	<p>25ページの部活動数で、「6部活動のうち5部活動」とありますが、36ページではNo12に「5部活動中4部活動」とあります。最新(令和7年度)のデータで揃えられてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、統一すべきところでした。最新のデータで、「6部活動中4部活動」にさせていただきました。</p>	(1)

9	<p>35-36ページのように、数値やグラフで表してある部分については、根拠を示してあり、説得力を感じました。反面、28ページの「地域未来塾」や「放課後子ども教室」等については、実施されていることは記載されていますが、令和7年度において菊水・三加和地区でそれぞれの程度の参加者（人数、割合）があったのか記載がなく、地域や子供たちがどの程度必要と感じているのかを実感することができませんでした。部活動の地域移行のように、具体的な数値が示されていると、そのためのスタッフの確保や育成が喫緊の課題であることが伝わるのではないかと思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、現状を理解していただけるよう、令和7年度の参加状況の表を掲載いたしました。</p>	(1)
10	<p>数値については、ただ示すだけでなく、その背景も実態把握していただけると今後の方針も定まりやすい気がします。例えば25ページの中学校部活動の加入者数について、「健やかな体の育成」のためには、中学校の部活動等はとても重要な役割を担っていると思いますが、加入率が7割未満である現状について、その要因を明らかにすることが重要ではないでしょうか。「そもそもスポーツに関心がない」のか、「クラブチーム等に参加している」のか、「金銭的に余裕がない」のか、要因を明らかにすることで、対応（体制の整備、指導者の確保、スポーツに対する魅力の啓発、活動費の補助等）が定まるのではないかと思います。</p>	<p>部活動の地域移行に関しましては、様々なご意見をお聞きし、丁寧な説明に努めながら慎重に進めているところですが、未加入の理由などについて、全体的な調査は行っておりません。調査の実施も含め、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	(3)
11	<p>より見やすい文書にするために、できるだけ文言の統一を図ってはいかがでしょうか。例えば「児童生徒」「子供」「子ども」が混在しています。国や県の資料等を基に作成されているので、それぞれの根拠資料からそのまま転記するとなかなかこのようなことになると思います。文書全体でもですが、39-41の「用語解説」という1つのトピックの中でも混在しています。文脈の関係上混在することもあるかと思いますが、可能な範囲で統一できると、読みやすくなると感じました。教育関係者だけが見る文書ではありませんので、できるだけ平易な言葉で読みやすい基本計画になるといいなと思います。</p>	<p>「子ども」「こども」「子供」については、関係省庁によって標記の仕方が違っており、法規名や施策名も混在している状況です。本計画の中では、基本的には文部科学省の文書に倣って「子供」と標記しましたが、関係法規等が「子ども」になっている項目では、それにそろえた部分があります。</p> <p>「子供」か「児童生徒」かについては、小学校や中学校に在籍する存在として表現する場合は、「児童生徒」が適当と考えましたが、捉え方によってはどちらでもよい場合もあるようです。ご指摘を受け、再検討し数か所訂正させていただきました。</p>	(1)

ご意見をお寄せいただきありがとうございますございました。